

えているが、補助事業で建設したため補助対象期間が残っている。今後、道と協議し、補助金返還も考慮しながら検討していく。

Q 茂岩山にあるステージの建物についても使用されていないようだが？

A 敷地を民間企業に貸しているため、目的としているステージとしての使用は難しい。補助事業で建設しているため、今後対応を検討したい。

Q 役場前道路に、時計と温度計があったが、温度計が外されたままになっているが？

A 温度計を設置する環境でなかったため、誤差も大きく、破損したため取り外した。今後の設置は考えていない。

Q 下水道処理場の建物が老朽化しており、外観も良くない。今後、どう考えているのか？

A 19年が経過しており、機械、電気設備、施設について、来年度から改修工事を計画している。

Q 町立医院の2階部分について、現在どうなっているのか？

今後の活用はどう考えているのか？

A 前院長は「利用計画がある」とのことだったが、結局何の利活用もなかった。現院長とはまだ協議をしていないが、医療に関することに活用したい。

Q 旧歯科診療所は現在どのようなになっているのか？

A 社会福祉協議会がデイサービス事業に使用した後、現在は帯広市にある医療機関の在りハビリ東部拠点施設として賃貸契約をしている。

平成27年度補正予算等

Q 個人番号カードについて、9月1日に各世帯に配付された冊子だけでは理解が難しく、今後どのように町民にこの制度を知らしめるのか？

A 広報紙7月号で制度の概要を、9月号の広報紙の配付に併せ、小冊子を、また10月からの通知カードの発行が開始されることから、さらに広報紙で分かりやすく掲載する予定である。今後は様々な会議の場で直接、制度の目的などの基本的な事項について説明する機会を設け、町民の理解を深めたい。

Q 農村サポート施設修繕料45万円の内容と今後の修繕予定は？

A 今回の修繕は、トイレ便座5基のウォッシュレットへの改修と施設裏口の段差解消の補修。今後の修繕予定は無いが、利用に支障が出ないよう、また周辺の景観に配慮し、管理していきたい。

Q 豊頃南町公営住宅の老朽化・美観の改善は？

A この団地で生活する方々のライフスタイルもあるので、直ぐに改善は難しいが、建物も古くなってきているので、改善方法など住民の方々の話し合いを進めていきたい。

Q 豊頃南町民間賃貸住宅建設に伴う住民迷惑の解消を！

A 昨年度3棟の賃貸住宅建設を一斉に行ったこともあり、地域住民の方々に迷惑を掛けた。今年度の建設に当たっては、工事関係者との調整、住民説明を徹底し進めたい。

Q 団地内の物置、ガレージの無造作な設置により冬期間の除雪に支障があるので改善策を！

委員会レポート

産業厚生常任委員会で8月24日に、「農作物の作況について」所管事務調査を行いました。

町内の農作物の作況について、8月24日に開催された町農業改良推進協議会が主催する作況調査に同行して調査した。

調査当日は、町内の9圃場9作物について一圃場ごとの作物の草丈、着莢数などの生育状況や、病害虫の発生状況、農作業の進捗状況及び今後の注意事項などについて説明を受けた。

本年は、4月下旬から5月上旬にかけて天候に恵まれ甜菜の移植作業や馬鈴薯の植付作業、豆類の播種作業は平年並みだったが、その後の好天候により、順調に生育している。



農作物作況調査

中糖分も多く、高収量が期待される。馬鈴薯も、5月の干ばつの影響を受け生育が停滞していたが、その後の降雨により平年並の収量が見込まれる。

牧草について、1番草は、収量が平年をやや下回ったものの、2番草は順調に生育している。デントコーンは干ばつによる水分不足のため、平年より草丈が短く、昨年より収穫量の減少が懸念される。

なお、現地調査は行わなかったが、すでに収穫作業の終了した秋まき小麦については、5月の干ばつの影響が懸念されていたが、その後の好天により、平成23年から収穫の品種「きたほなみ」で初めて、期待収穫量に達した。

調査時点での状況は以上のとおりであるが、今後の台風等により作物への影響が懸念されることである。

また、今後においては、病虫害による被害、霜の降りる時期によつては豆類の収穫に悪影響を及ぼすことも考えられる。

全町的に中長期的な明・暗渠排水などの農地基盤整備対策や、平成20年度から行われている土層改良を目的とした圃場への泥炭土の受け入れ継続など、安定的な収量確保に向けた対策を講じることや、本格的な収穫期を迎えるにあたり農作業事故の注意を喚起するよう関係機関等とおして指導を徹底されたいなどの意見が出された。

議会広報

研修会参加報告

去る、8月19日札幌市において議会広報研究会が開催され、議会議会広報研究会が開催され、議会議員4名が参加しました。全道107の町村から575名が参加し、グラフィックデザイナーの長岡光弘氏を講師に「議会広報紙の表現基本」のテーマで講演があり、「住民にわかりやすい紙面づくり」や、「多くの住民に読んでもらえる編集の工夫」などについて学びました。研修後、今後の広報づくりに活かしていきたいことを全委員で確認しました。



北海道町村議会議長会主催広報研修会

意見書

▷ 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

原案どおり可決され、関係省庁に提出されました。

◎ 定例会や臨時会などの会議の内容は、会議録に詳細に記録されています。ご覧になりたい方は、町ホームページを閲覧されるか、議会事務局へお問い合わせください。また、議会だよりの感想もお待ちしております。

TEL 015-574-2222
FAX 015-574-3955
(議会事務局直通)